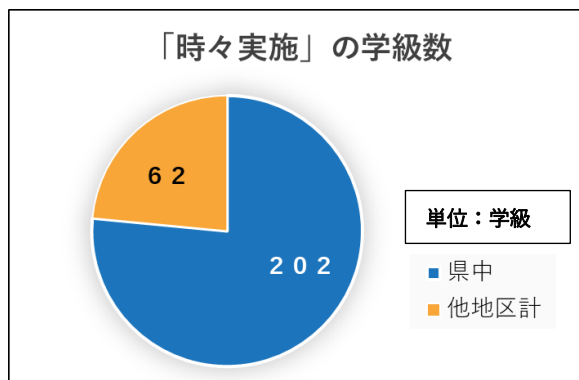
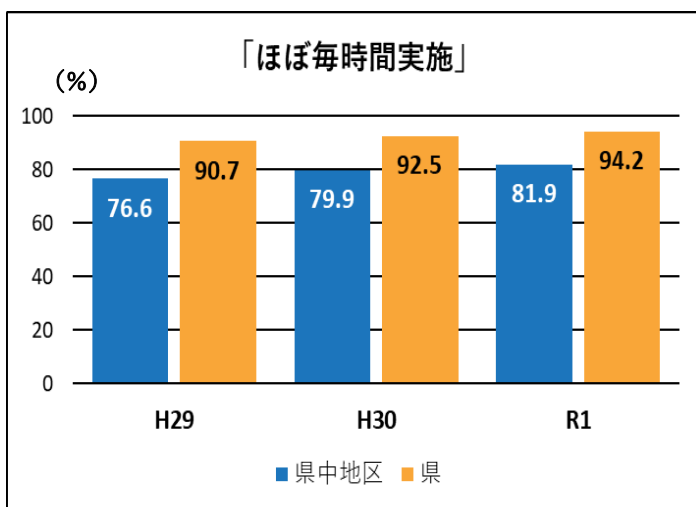
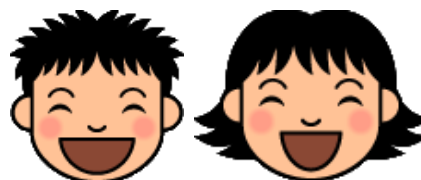


# 健康課題克服に向け、取組を推進しましょう！！ Ver.令和元年度

福島県教育庁県中教育事務所

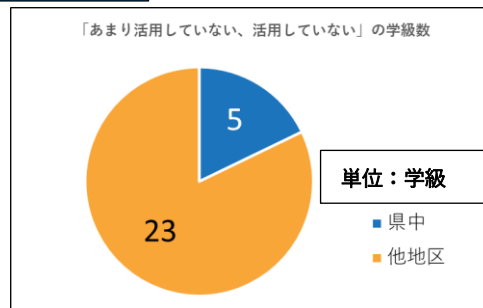
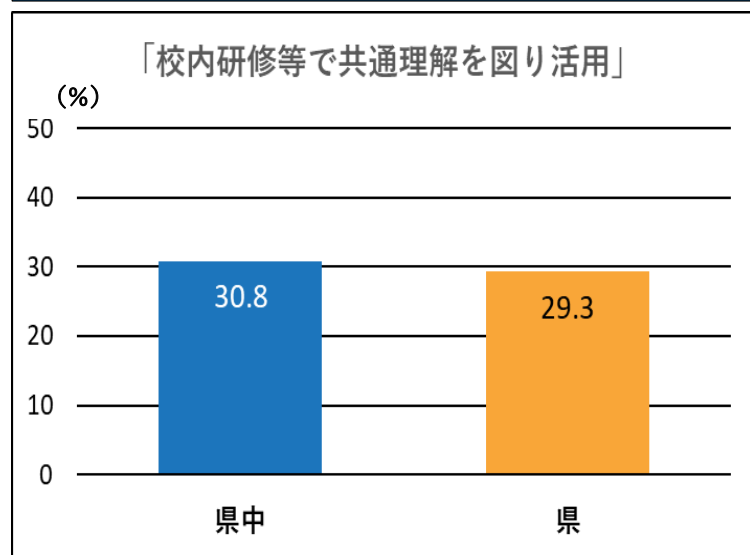
平成31年度実施の「学校体育・保健・安全・食育に関する調査」結果から、県中域内の課題となる項目を掲載しました。自校の児童生徒の実態と課題解決に向けた学校全体の取組を振り返り、カリキュラム・マネジメントの機能を生かして次年度の健康教育の推進に生かしてください。

## 1 運動身体づくりプログラムの実施（小学校）



- 「ほぼ毎時間実施」する学級が平成29年度以降、確実に増加していますが、県全体では9割以上の学級が実施しており、取組の差が見られる状況です。「時々実施」が県全体で264学級ありましたが、7割以上（202学級）が県中地区の学級です。
- 全ての学級担任がプログラムを指導することができるよう、毎年開催されている運動身体づくりプログラム講座への積極的な参加や校内研修の実施などの対策をお願いします。

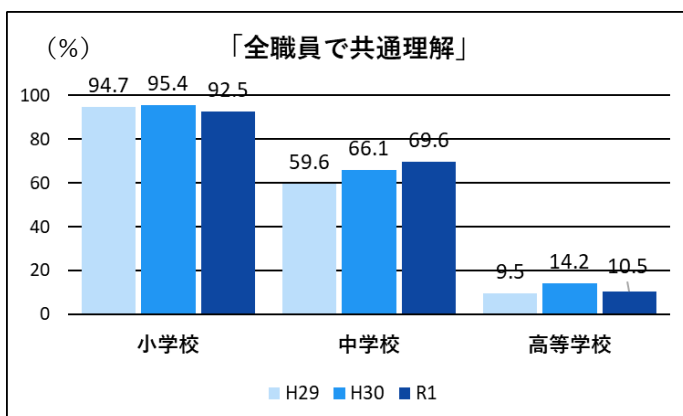
## 2 ふくしまっ子児童期運動指針の活用（小学校）



- 全県的に、共通理解して活用するに至ってるとは言いえない状況にあります。体育の授業ばかりでなく、日常生活における運動習慣を育むことが健康への基盤づくりに大きくつながります。

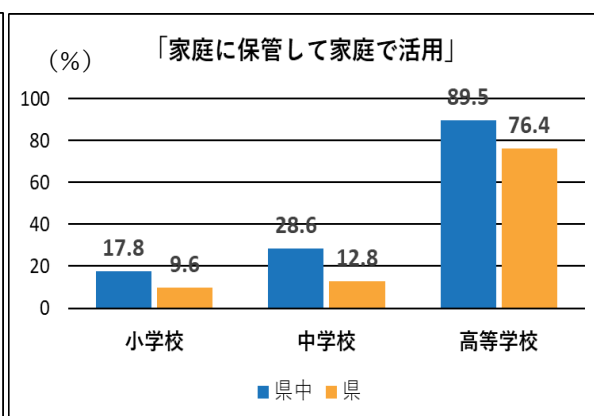
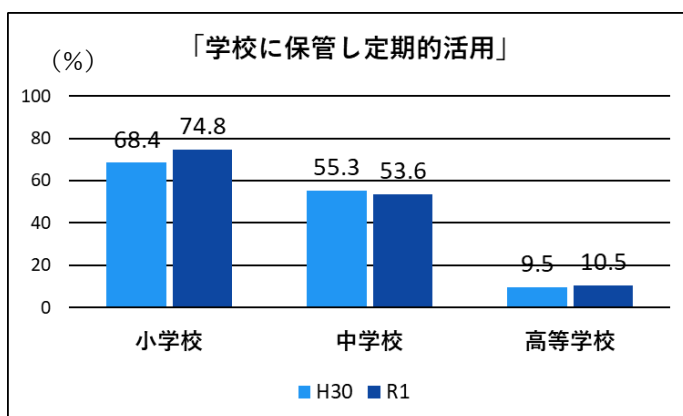
### 3 体力向上推進計画の共通理解

※ グラフ中の小学校・中学校には、それぞれ義務教育学校（前期課程・後期課程）が含まれます。



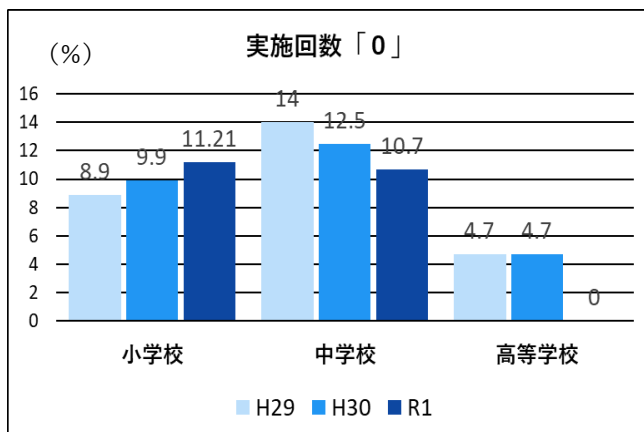
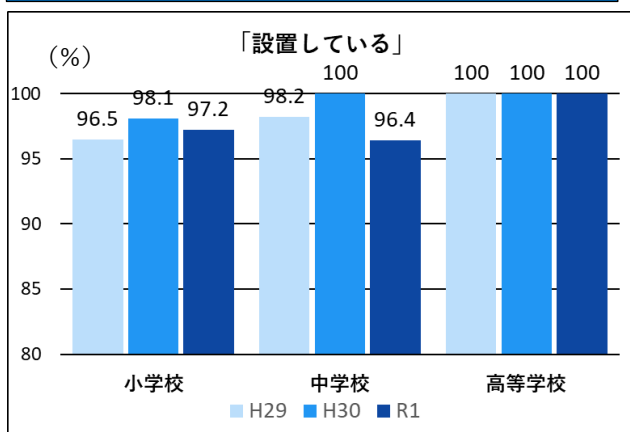
- ・ 中学校が毎年増加しています。
- ・ 児童生徒の実態と課題や実践内容を共有し、効果的な取組を推進するためにも、共通理解の場が大切です。
- ・ 「ふくしまっ子元気大賞 Book」などに掲載された実践例を参考にするなど、自校の実態に応じた推進計画を改善することも必要です。

### 4 自分手帳の活用



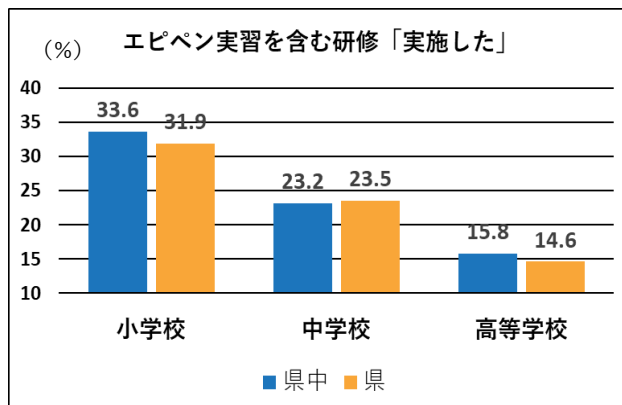
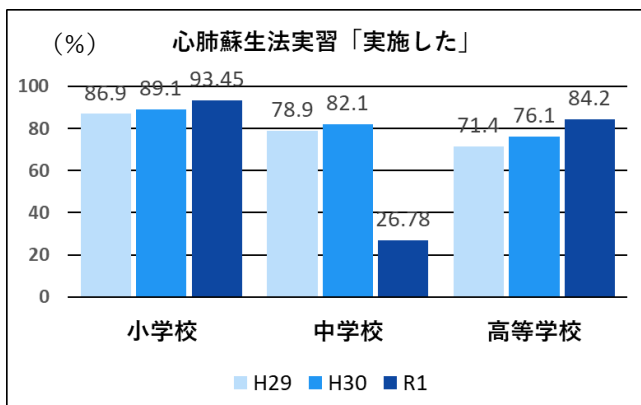
- ・ 小・中学校では半数以上が学校に保管し、定期的な活用が見られており、特に小学校での活用が進められています。
- ・ 家庭に活用を委ねている学校は、県全体と比較すると多い状況が見られます。
- ・ 自分手帳の活用場面や方法を教育課程（学校保健計画・体力向上推進計画・食育全体計画など）に位置づけた計画的な活用が大切です。
- ・ 東京オリ・パラ beyond2020 マイベストプログラム「ふくしまっ子健康・体力マネジメントプラン」では、2020 東京大会を契機としたレガシーを創り出す取組として、自分手帳の活用が提示されてあります。ぜひ、御参考にしてください。（令和元年 1 月 5 日付け 元教健第 6 6 0 号）

### 5 学校保健委員会の設置と実施



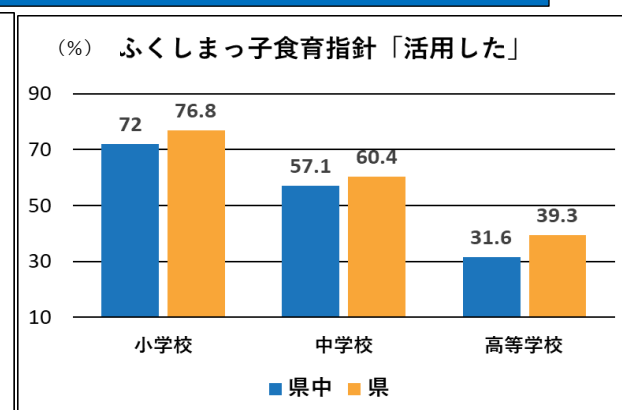
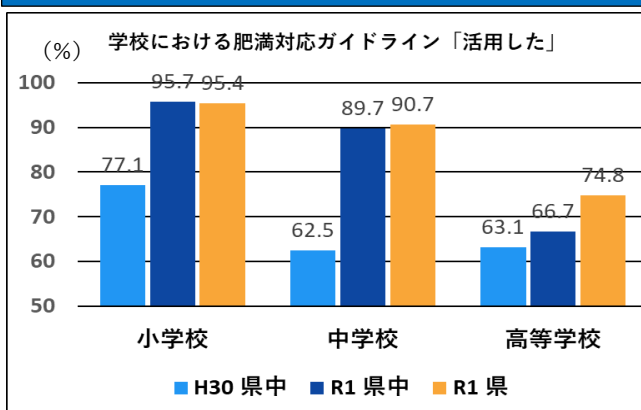
- ・ 県中地区のほぼ全ての学級で学校保健委員会を設置し、児童生徒の健康課題を共有した組織的な取組を行っていますが、設置していても実施していない学校が小・中学校合わせて18校ありました。高等学校については、実施していない学校はありませんでした。
- ・ 学校保健委員会の設置については、文部省体育局長通達（昭和33年6月）、文部省保健体育審議会答申（昭和47年12月）の他、平成20年1月の中央教育審議会答申「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」にも示されています。引き続き健康問題の研究・協議のために学校保健委員会の実施をお願いします。

## 6 校内研修での心肺蘇生法実習（AEDを含む）、食物アレルギーの緊急時対応



- ・ 心肺蘇生法実習については、小・高等学校の実施が増えているものの、中学校の実施が著しく低下しています。食物アレルギーの緊急時対応については、対応が必要な児童生徒数が見られる学校において、実施されていました。児童生徒の大切な命を守るための知識・技能習得と学校全体で対応できる体制づくりが重要です。
- ・ 教職員の迅速で適切な対応により、児童生徒等の一命をとりとめた事例は、決して少なくありません。実習を通してAEDやエピペンに触れることも大切です。

## 7 「学校における肥満対応ガイドライン」、「ふくしまっ子食育指針」の活用



- ・ 各校で児童生徒の実態や発達段階に応じた「学校における肥満対応ガイドライン」「ふくしまっ子食育指針」の活用は、年々増えています。 ※健康教育課のHPからダウンロードできます。
- ・ 肥満指導に正しい食への知識・理解は欠かせません。「ふくしまっ子食育指針」を基に、さらに食に関する指導の実践がなされるように教職員の連携と協働体制が大切です。
- ・ 「健康教育全体計画」や「食育全体計画」に肥満指導に関する内容や教職員の役割を明記し、組織全体での取組が大切です。